

進路だより

山形県立ゆきわり養護学校
進路指導部
平成27年7月17日発行
第1号



進路だよりに寄せて

校長 山下 敦



7月1日は本校の第33回創立記念式でした。学校の簡単な歴史を伝え、卒業生がどのぐらい出ているかを話しました。卒業していった先輩達(330人程)は社会の様々なところで活躍していること、私が教えた人も電気部品ของบริษัทに入社して2年間一生懸命働いて「働く広場」という全国誌に載った方、大学を卒業してから大企業に入った方、福祉就労の方等様々ですがそれぞれ活躍されていることを伝えました。そして、皆さんも自分なりのがんばりにつなげてほしいと言いました。

そして、「この学校は、皆さんも、お父さんお母さんも、先生方も、病院や福祉関係の方もみんな力を合わせて頑張っている学校です。」と言いました。「みんなが誇れる学校だよ！」と大きな紙に書いたものを示しました。

早速「難しすぎたのでは」と心配してくれる先生もいましたが、まずは「誇れる学校」に今在籍していることを全員が「誇り」に思わなければなりませんので示しました。

現在、どの学校でも「キャリア教育・職業教育」「キャリア教育・就労支援」に熱心です。

知的障がいの特別支援学校の場合、障がい者雇用での一般企業への就労に目が向いていますが、肢体不自由のある本校の場合、近年は福祉就労や病院施設等への入所が多くなりました。昨年の「進路だより第2号」で伊藤前校長先生は「今年目標としては、一般就労や福祉就労の中でも就労継続支援A型事業所あるいは同B型事業所への就労をめざしたいと考えています。」と書かれました。

4月、幼児児童生徒の皆さんに「おはよう」「こんにちは」と話しかけました。すると黙って目だけ合わせる人、恥ずかしがって横を向く人や、私がいけないかのように通り過ぎる人が多かったのです。しかし、3ヶ月経って、食堂に入ってくる時に「こんにちは」と大きな声で挨拶してくれたり、手を挙げたり、笑顔で返してくれたりする皆さんが多くなってきました。気持ちが伝わってくるが多くなってきたのです。

この「気持ちを伝える」…「いつでも」「どこでも」「だれにでも」

「あいさつする」…「眠い朝」「眠い午後」「自分から」「だれにでも」ということができるようになれば、社会に出たときに、かなり役に立つと思います。

4・5月に、卒業生の進路先へ挨拶に出向きました。私を知っている方達は笑顔で迎えてくれました。直接教えたことがない方からもです。また、山形に行く途中に校長室に寄ってくれた卒業生もいました。「山下先生が戻ってきたから会いに来た。」とのこと。みんな、「僕は(私は)今〇〇をして頑張っているよ。」と沢山教えてくれました。こういった社会性が育っていれば、社会の構成員として十分生きていけるのです。

本校はそういう力を育てたのだと思います。キャリア教育ということで規定している諸能力をばらばらに授業するのではなく、人間丸ごと人として当たっていくのが「ゆきわり力」の真の力なのでしょう。先輩を見て方向性の正しさを確認した次第です。

相談支援事業所に行ってみませんか？

ケース1

入浴を担当していた父親が入院することになり、困って相談したところ、入浴サービスで、家まで来てくれるケアセンターを紹介してくれたり、こちらから施設に行ってお風呂サービスをしてくれる所を紹介してくれたりしました。

ケース2

家の中に大きな段差があったのでリフトをつけたいと考えていることを相談したら、そのことにあった助成制度を紹介してもらい、かなりの金額を助成してもらうことができました。

このように、普段は親ができるから・・・と書いていても、いざというときに頼りになるところへ、元気なうちからつながっていることが、子どもにとっても家族にとっても大切です。また、困っていることを気軽に相談する場所があることで、安心して生活することができると思います。

法制度が変わり、障害福祉サービスを利用するすべての方に、サービス等利用計画の作成が必要になりました。学校卒業時に福祉事業所を利用する方は、全員相談支援事業所で利用計画を作成していただく必要があります。本校でも高等部生には、全員相談支援事業所への登録を勧めております。

各市町村によって、委託している相談支援事業所が異なります。まだ利用されていない方、初めてで不安な方は、知り合いの方や担任に聞いてみたり、相談支援事業所へ電話で問い合わせたりしてみてもいいかもしれません。



進路コーナーをご活用ください

本校の中に、進路コーナーが2か所あります。どちらも、各市町村にある福祉事業所などからのおたよりなどの情報が手にとってご覧いただけます。どうぞご活用ください。



エレベーターホールの掲示板です。
ファイルには事業所情報が入っています。



保健室前の掲示板です。各福祉事業所からの広報誌などが掲示されています。